

評価シート 様式

取組名	過疎地域を公共交通でひとつにするプロジェクト		
実施団体名	珠洲市地域公共交通活性化協議会	対象地域	石川県珠洲市
(代表団体名)	石川県珠洲市	推薦団体名	
① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか		平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。 (備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について		平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかつたと認められる。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)
		② 実施 体制	
		④ 継続 展開 の見 込み	

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	過疎地域を公共交通でひとつにするプロジェクト		
実施団体名	珠洲市地域公共交通活性化協議会	対象地域	石川県珠洲市
(代表団体名)	石川県珠洲市	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	取組のベースは公共交通の維持をテーマとしつつも、これを活用して地域コミュニティの強化、まちなか商店街の活性化、観光の振興のための取組も盛り込まれており複合性が認められる。また公共交通が活性化することにより、商店街の賑わいや、観光交流が促進されるなど、相乗効果・波及効果が期待できる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	公共交通の維持を中心として、確立した実施体制の下で、地域コミュニティの強化から、まちかど商店街の活性化、観光振興まで取り組んでおり、地域活性化に寄与する取組として評価できる。次年度の事業対象に関しては、以下の点に考慮した上で地方の元気再生事業を継続することにより、本格展開が期待できるものである。
	事業対象に関しては、生活交通の地域定着化に資する事業への絞り込みを行うほか、フォーラム等はより効率性の向上と地域の関係者のより積極的な関与を図るべきである。また、目標設定にあたっては、取組内容に応じた、より効果に直結した、検証が容易なものへの見直しを検討すべきである。また、取組全体が地域において継続的に運営される体制の構築等を検討すべきである。